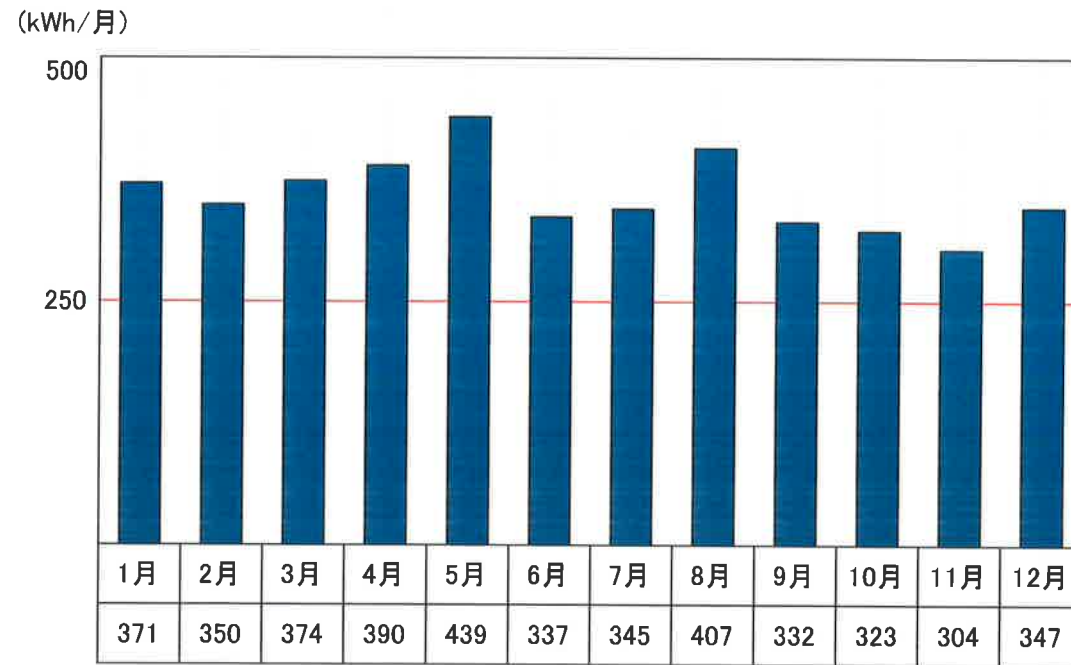


発電シミュレーション

ソーラー発電システムの太陽電池容量: 4.2000 kW
 年間予測発電電力量: 4319 kWh/年



環境貢献の目安

石油削減効果(年間): 980 リットル/年



ポリタンク(18リットル)換算
54 個/年

二酸化炭素削減効果(年間): 1358 kg-CO2/年



乗用車走行距離削減量換算
5780 km/年



レジ袋換算
29529 枚/年



二酸化炭素削減能力の森林面積換算
3803 m²
テニスコート換算: 15 個分(ダブルスのライン内側)

この「発電シミュレーション」の結果は、右下に記載の販売店が京セラ「営業支援システム “photoPA”」を利用して出力したものです。実使用時の発電電力量は、実際の日射、設置場所の周辺環境などの条件により大きく変化する場合があります。下記の条件により算出されたシミュレーション値は、実際の設置時の導入効果を保証するものではありません。あくまで目安としてご参照下さい。

- 「月間および年間予測発電電力量」は、次の条件で算出しております。
- 日射量データは、NEDO(新エネルギー産業技術総合開発機構)／(財)日本気象協会「日射関連データの作成・調査」(平成10年3月)の次の地点における日射データによります。日射データの地点: 静岡 吉原
 - 太陽電池モジュールからの発電電力量の損失について
 - ・素子温度の上昇による損失率: 12月～2月を10%、3月～5月及び9月～11月を15%、6月～8月を20% 　・その他損失率(配線、受光面の汚れ、逆流防止ダイオードによる損失など): 5.00%
 - ・その他、損失率の指定(1月～12月): 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0%
 - 設置方式による補正係数: 「SAMURAI」「EGONORROOTS typeR/typeU/ADVANCE」1.000、「HEYBAN」0.98、「EGONORROOTS typeG」1.02
 - 使用パワーコンディショナの電力変換効率: PVN-552: 95.0%
 - ソーラー発電システムの太陽電池容量、パワーコンディショナの変換効率、設置の傾斜角と方位角、電気系統の条件などについては、営業支援システム“photoPA”において電気分析を行った際の内容によります。ただし、北面もしくは北面に近い設置は、発電電力量が大きく低下するためお勧めしませんので、真北～西、および、東～真北を選択された場合のシミュレーション結果は参考値としてご覧下さい。
 - 予測発電電力量の数値は小数点以下を四捨五入して表記しています。そのため、各月(1月～12月)の表記数値の合計は、年間の表記数値と少し差異がある場合があります。

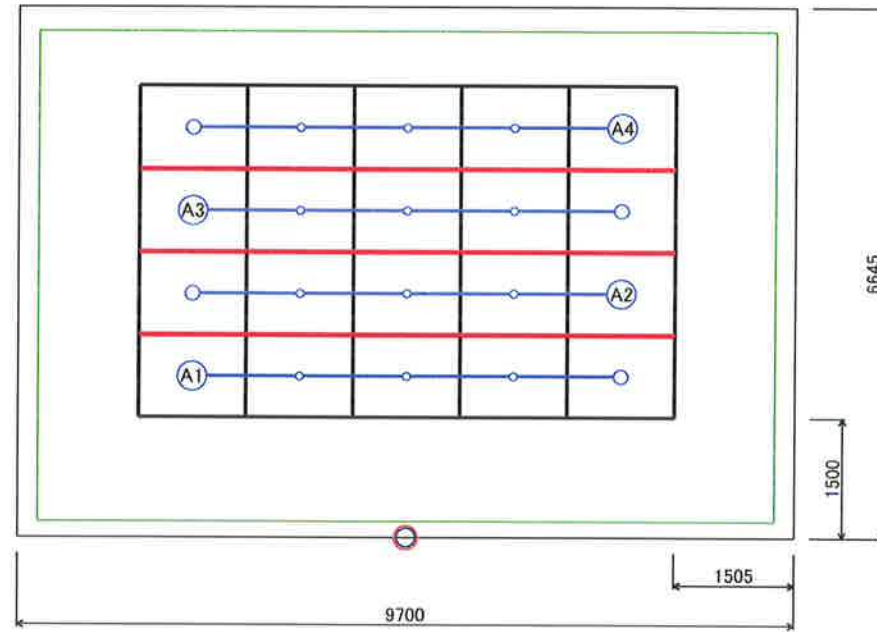
- 「環境貢献の目安」は、次の条件で算出しております。
- 石油削減効果: 発電電力量1kWhあたり0.227リットル 出典: NEDO(独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)『太陽光発電導入ガイドブック(平成10年8月)』より
 - 二酸化炭素削減効果(二酸化炭素換算): 発電電力量1kWhあたり314.5g-CO2
 - ・CO2発生量の比較対象は、国内電力会社(2001年度)の平均電源CO2排出量380g-CO2/kWh
 - 出典: 原子力図書館HP(原子力百科事典ATOMICA)より図表「電源別発電電力量の構成比」、及び「日本の電源別CO2排出量の比較」を基に算出
 - ・ソーラー発電システムの単位発電電力あたりのCO2排出量は、結晶系シリコン太陽電池の場合、45.5g-CO2/kWh
 - 出典: 太陽光発電技術研究組合のNEDO委託業務成果報告書「太陽光発電評価の調査研究(平成13年3月)」より、年産規模100MW、屋根設置型を基準とする
 - 二酸化炭素削減効果(年間)の乗用車走行距離削減換算: ガソリンの二酸化炭素(二酸化炭素換算)排出係数: 2.35kg-CO2/リットル、乗用車の燃費を10km/リットルと仮定
 - ソーラー発電システムの二酸化炭素削減能力の森林面積換算
 - ・森林 1m²あたり年間0.0974kg-C 出典: NEDO(独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)『太陽光発電導入ガイドブック(本編)2000年改定版』より
 - ・森林面積のテニスコート換算は、ダブルスのライン内の260m²を1面の面積として算出

図番	PV-4445-1		
太陽電池容量	4.2000 kW	電気分析	2015.04.22_13:44
販売店名	*		
お客様名	富士南No7 様		

太陽電池割付図

【参考図面(寸法は誤差を含んでいる場合があります)】

屋根1 (南南東 4.5寸 平板瓦 4.2000kW)



本割付け図は設置可能を前提に作成しております。
 下記項目は販売店様にてご確認をお願いします。
 ①屋根の働き寸法及びピッチずれ
 ②取り外し可能な瓦位置(瓦屋根の場合)
 ③垂木位置及び取付けピッチ

※ 屋根勾配は、0.1寸刻みで表示しています

パワコン	系統番号	KJ210P -3CRCG	設置容量 (kW)	昇圧 ユニット
PVN-552	A1	5	1.0500	0
	A2	5	1.0500	0
定格出力	A3	5	1.0500	0
	A4	5	1.0500	0
5.5 kW	A5			
昇圧調整スイッチ	A6			
	A7			
不要	A8			
152.0V	合計	20	4.2000	0

パワコン	系統番号	KJ210P -3CRCG	設置容量 (kW)	昇圧 ユニット
	B1			
	B2			
定格出力	B3			
	B4			
	B5			
	B6			
昇圧調整スイッチ	B7			
	B8			
	合計			

太陽電池容量	4.2000 kW	商品名	ECONOROOTs-TypeR		
尺度	1 : 100	電気分析	2015.04.22_13:44		
接続・昇圧ユニット	JB40D/JB01D	総屋根面積	64.46 m ²	太陽電池面積	27.80 m ² (43.1%)
図番	PV-4445-1				
販売店名	*				
お客様名	富士南No7 様				